

第6学年3組 学級活動指導案

平成24年5月15日(火)4校時
男子14名 女子10名 計24名
指導者 鈴木 伸治

1 議題名 「自分たちのやりたいことを選ぼう」

2 議題について

(1) 本学級の児童

これまでの学級活動においては、「お楽しみ会をしよう」「月目標についてふり返ろう」「幸せプロジェクトを成功させよう」などという話し合い活動を通して、各種実践を行ってきたところである。昨年度は「全員が納得した上で物事を進めていこう」というクラスのテーマにもとづき、学級会の時間はもとより、各教科などの学習活動とも合わせ、友だちの話をよく聞くこと、その上で、理由を明確にして意見を発表することなどを折に触れて指導してきた。そして、少しずつではあるが、話し合いの進め方や意見発表に慣れてきている。

しかしながら、発表はするものの、「話し合い」につながらずに意見を言って終わりになってしまう場合や自分の意見に自信がないせいか、考えを発表できないでいたりする場合（特に女子に多い）もある。また、女子のグループ化の傾向も見られ始め、中でも特にM子は、表面的に誰とでも仲良くしているものの、アンケートや日記などで、心の中ではうまく関わっていない内容のことを述べてくることがある。担任として、M子の訴えに心を寄せながらも、周りの女子にやんわりとそれらに関する話を聞いてみると、「場の雰囲気を壊すような言葉を発する。」「他の容姿格好に関する話を話題にしたがる。」といった理由から、周りの子たちもうまく関わりが持てないでいることがわかった。

そこで、M子に対しての個別指導をしながらも、積極的に小グループでの話し合い活動を意図的に設け、話しやすい雰囲気を作る場の設定を行っている。と同時に、全体へは、他の意見につなげることに慣れさせたり、自分の意見を表出させたりという時間を大事にしてきたところである。

こうした本学級の児童の実態を踏まえつつ、また、一年後の中学校進学を見据えて、「クラス全体が集団決定に向けて、友だちの意見をよく聞き、そして発言し、話し合いを深めていくような姿」をめざしているところである。

(2) 議題設定の理由

今回の議題は、学級活動の内容「共通事項(1)」学級や学校の生活づくりと関連し、6年生になって初めての、何らかの会を企画するという位置づけにある。

6年生に進級し、約一か月、最高学年として学校を引っ張っていかうという気持ちが個人差はあれど、児童も持っている。中でも先に行われた「一年生を迎える会」では、実行委員会の児童を中心に、看板や飾りつけ・プレゼント作りなど、大変熱心であった。一年生のために、早く学校生活に慣れてほしいという、相手意識や目的意識が明確であったためと思われる。

そんな中、次の学級会で話し合いたい内容としてアンケートをとったところ、大きく分けて次の三つに分かれた。

- ①「一年生ともっと遊びたい。」「名前を覚えたい。」という願いから一年生と遊ぶ会をしたい。

- ②クラスの絆を深めるために、クラスだけのお楽しみ会をしたい。
- ③学級で何かお楽しみ企画をして、全校生を招待する会をしたい。

これまでは、司会団を交え、教師とともに活動の方向性を決めていくことが多かった。しかし、今回、「自分事を問題化させていくこと」が、これから児童会や学校行事等で中心として活躍していくであろう6年生の今の時期として大切と考えている。よって、今本当に自分たちのやりたいことを話し合わせる時間を設けようという教師の願いから、議題を設定したところである。また、先の本学級のM子や周りの児童の実態のように、うまく関わりが持てないでいる実態がある。自分たちで集団決定した会を実践することで、役割の分担による協力する大切さや責任感を育みつつ、クラスとしての一体感を育めるのではないかと想定している。よって、今回は、教師のそうした願いを提案するという意味合いから、提案者は教師にする。

3 指導の構想

本校研究テーマ「学び合いを通して、自他のよさに気づき、豊かな生活を創りだす子ども」に関わって、以下の三つの視点から指導・支援する。

(1) 視点1 <心の耕し>

本議題に関わるであろう問題意識の掘り起こしとして、主な教科・道徳との関連性を次のように図ってきた。

- ・国語「リリーススピーチをしよう」…メモのとり方、発表の仕方、話の聞き方
- ・道徳「消えた紙くず」…愛校心の醸成

「花色の風がふく学校」…役割と責任の自覚への気づき

また、昨年度の二月に学級活動として「幸せ雪かきプロジェクト」を話し合い、実際の活動を行ってきた。こうした学習活動を通して、高学年として自分たちの楽しみや喜びのためだけではなく他（＝相手意識）の幸せも考えるという気持ちが高まってきているととらえている。

議題の集め方に関しては、日記や作文・アンケートなどを中心に行っており、本議題もアンケートから考えたところである。

(2) 視点2 <相手意識や目的意識を大切にした話し合い活動>

話し合い活動の際には、常に、だれのために、何のためにするのか、ということ意識させている。小グループでの話し合いの際もその部分が意識されたカード等を準備する。

司会団での指導では、予め話し合いの流れを教師側と確認しつつ、本時のねらいである「よりよい集団決定」ができるよう、司会団と打ち合わせをしておく。具体的には、自分たちのこれまでの生活をふり返っての理由付けた発表からの討議を期待したい。また、教師側では「待つ姿勢」や「任せる姿勢」を大事にしていく。

(3) 視点3 <よりよい自分・集団への高まり>

ふり返りカードを準備し、話し合い時のめあてに沿った内容でふり返らせる。その際、友だちの発言に心から共感するなどの良かった点や、他の意見をもとに自分の考えが変容した点などに価値をおきたい。また、最後の教師からの話では、本時のねらいの最重要点（よりよい集団決定）に関連した良さを可視化して、提示していくこととする。

4 活動計画

	日 時	児童の活動内容	活動の場
事前	5月1日(火)	【アンケート】 ・話し合ってみたいことややりたいことの表出	学活の時間
	5月2日(水)	【議題の確認】 ・教室背面黒板に掲示された表を見て、議題を知る。	※教室背面 「みんなの黒板」掲示
	5月7日(月)	【司会団との打ち合わせNo.1】 ・話し合い活動の流れについて	よつばタイム
	5月11日(金)	【司会団との打ち合わせNo.2】 ・司会者への支援(話し合わせ方・意見集約等) ・黒板書記への支援 (意見の表記の仕方・色チョークの使い方等)	よつばタイム
本時	5月15日(火)	【話し合い活動】 ・やりたいことを選ぶ話し合い活動	※本時指導案参照 学活の時間
事後	5月21日(火)	【話し合い活動】 ・やりたいことの詳細についての話し合い活動 (日時・場所・方法等)	学活の時間
	5月※日()	【話し合い活動(予備)】 ・上記、話し合いの予備	よつばタイム
	6月上旬	【実践活動】 ・決まったことの実践	未定 (学活 or 休み時間)
	同上	【ふり返り】 ・実践の振り返り (ふり返りカードの記入→全体でのふり返り)	よつばタイム

5 本時の指導計画

(1) 本時のねらい

自分たちがやりたいことを選ぶ活動を通して、相手意識と目的意識を明確にして、よりよい集団決定ができるようにする。

(2) 指導過程

話し合いの流れと予想される児童の意見等	指導上の留意点と支援・評価 (◆)
<p>【司会】 大竹辰季 【副司会兼ノート書記】 鈴木皐生 【黒板書記】 鈴木侑奈・浪波なな子</p> <p>1 はじめの言葉 2 議題の確認と提案理由の説明</p>	<p>・話し合い活動に先立ち、教師からの提案理由を述べ、願いを児童に伝えたい。</p>
<p>6年生になって、初めての企画。これまでの自分たちの生活をふり返り、今、本当に自分たちにとって必要だと思う内容を、そして、自分たちの力でできる内容を考えてほしいと思い、提案します。</p>	
<p>3 めあての発表と話し合いの見通し</p>	<p>今日のめあては、「今、自分たちが本当にやりたいことを選ぼう。」です。やりたいことを選ぶ際の条件として、①「今本当にやりたいこと」②「だれのために、何のために」やりたいのか理由をはっきりさせること③自分たちの力でできることの3つです。話し合いの仕方として、最初、班でやりたいことを考えます。その後、みんなでやりたいことを考えます。</p>
<p>4 話し合い</p> <p>【はしら1】15分</p> <p>まずは小グループ（6班）で、やりたいことをそれぞれ選ぼう。</p> <p>班ごとに、どれを実行したいか、理由もつけて発表しよう。</p> <p>【はしら2】15分</p> <p>他の班への質問等、意見交換をしよう。 (例)「一年生とだけじゃなくて、みんなを招待する会の方が良くないですか？」</p> <p>みんなが納得した上で、やりたいことを選ぼう。</p>	<p>・小グループでアイデアを見合うことで、安心感や意見の出やすい雰囲気にする。また、後で意見交換がしやすいように、アイデアをカード化しておく。</p> <p>・班で意見が分かれて、決められない場合は、話し合われた内容を発表する。</p> <p>・具体的なやりとりに関しては、児童（司会団）に任せる。</p> <p>・他の意見を聞いて、班の考えと変わってもよいことを司会団へ指示する。</p>
<p>5 ふり返り</p>	<p>・ふり返りカードを準備し、めあてに対してどうだったかをふり返るよう指示する。</p> <div data-bbox="1177 1653 1460 1870" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・友だちの話をしっかり聞けたか。 ・自分の考えを持ち発表できたか。 ・積極的に話し合い活動に参加できたか。</p> </div>
<p>6 先生の話</p>	<p>・話し合い活動で具体的に良かったところを掲示する。(可視化する。)</p>
<p>7 終わりの言葉</p>	

(3) 板書計画

先生から	4班	1班	選ぶ際の条件 ①本当にやりたいこと ②だれのため、何のため ③自分たちでできること	提案理由 これまでの自分たちの生活をふり返り、今 本当にやりたいことを選ぼう。	議題「今、自分たちが本当にやりたいことを選ぼう」
	5班	2班			
	6班	3班			

■小グループ時の話し合いカード

() 班

やりたいこと	だれのために	なんのために	具体的にどんなことをやりたい？

※やりたいこと一覧表をもとに、空欄をうめていき、黒板に貼る。

■やりたいこと・話し合ってみたいことのアンケート一覧■

やりたいこと	その理由（例など）
1年生と遊ぶ会	<ul style="list-style-type: none"> • 1年生と遊び足りなかった気がするから、1年生も喜べる遊びをしてみたい。 • みんなと遊んだりしゃべったりして仲良しになりたい。 • 「この子かわいい。」と思っても名前がわからなかったから一緒に遊べなかったから。 • 6年生として、一番下の1年生のめんどうをみてあげたいし、いろいろなことをしてみたいし、教えてあげたいから。（1年と6年で、宝探し） • 1年と6年がペアになって、学校紹介をする。そうすると仲良くなる。 • 1年生とふれあって仲良くなりたい。
6の3のお楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> • もっと深い絆にしたい。絆が深まれば、ケンカをしたり悪口を言ったりしなくなる。 • みんなが楽しくなって仲良くなるから。もっと仲良くなりたいたいから。 • いじめなどがなくなるように。 • 楽しめるし、6年の思い出の1つになるから。 • 今年で最後なので、楽しいお楽しみ会をして、思い出にしたい。
6の3が企画して、全校生を楽しませる会	<ul style="list-style-type: none"> • 前の6-3の人たちがやってくれたようなイベントをすると、参加してくれた人が喜ぶから。 • 学校にいいことをする。すべての学年が喜ぶような、集会みたいなもの。 • 団体とか組むことで、絆が深まるから。 • 楽しいことをしてHAPPYになるし、みんな笑顔になるから。 • たてわり班などで遊ぶ。1～5年生が仲良く、楽しくできるから。 • 全校で楽しく遊ぶと仲良くなり、楽しめるから。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • タイムカプセル • 動物を飼いたい • 学級文庫について • 友だち関係について • 校内をきれいに飾る • 地域の人の手伝いをする